



食欲の秋、実りの秋、芸術の秋、読書の秋など、秋と結びつく言葉はたくさんあります。米や果実が実り、快適に過ごしやすい季節。現実的にはまだまだ暑い日がありますが、耳をすませば秋の虫が鳴いています。皆さんにとって今年の秋は、どんな秋でしょうか？

スポーツの秋はこれ！

4年ぶりに会津美里町新鶴運動会が開催されます。

9月3日（日）午前8時30分 ふれあいの森公園に集まれ！！

今年 優勝旗を手にするのはどこの地区でしょうか？！



活動報告

ヤンボラにいつる

7月9日(日)「新鶴地区環境美化活動」

梅雨の合間の暑い中、汗をかきながらも、「町をきれいに！」の思いを込めて一生懸命ゴミを拾いました。それに合わせて、運動会の玉入れに使う紅白玉を大集会室に広げてむし干しを行いました。



7月28日(金)「防災体験講座」

福島県庁にある危機管理センターに行ってきました。

危機管理センターは災害対策のための活動拠点を常設化したことで、情報収集や対処方針の決定までの時間が短縮され、迅速な初動対応につながっているそうです。危機管理に関する最先端の機器や施設・設備に触れたことはとても良い体験になりました。



新寿学級

7月24日(月)生きがい求めて④ 白河市へ移動教室

「白河だるまの絵付け体験と白河小峰城石垣の歴史と修復工法を学ぶ」

白河だるまの特徴は、まゆは鶴、ひげは亀、あごひげは松、びんひげは梅、顔のしたには竹模様化し、全体に福々しいのが特徴です。見本を見ながら、黙々と筆を動かし、それぞれの思いを込めた「だるま」が出来上がりました。作品は産業文化祭に展示いたします。力作をお楽しみに！！



小峰城の石垣は積み方に特徴があり有名です。2011年の東日本大震災とそれに続く地震で10か所が崩落しました。石垣の構築方法など様々な調査が進められ、江戸時代の石垣構築方法いわゆる伝統工法に基づいて石垣修復が行われたことなど、その歴史についてボランティアガイドの解説を受け猛暑の中でしたが有意義な移動教室でした。

8月21日(月)生きがい求めて⑤ 防災料理教室 新鶴生涯学習センター調理実習室

災害に備蓄しておきたい非常食と、災害時に耐熱ポリ袋を使った調理方法を学びました。ポリ袋調理は時短料理で日常生活にも取り入れることができると好評でした。

※使う耐熱ポリ袋は基準があって、高密度ポリエチレン製食品用、厚さ0.01mm以上、耐熱温度が130度以上のもの、「湯せん対応」の記載があるものになります。



シニアのあした 塾 2023 7月19日(水) 開講!!

開講式のあと、第1回講座は「会津美里町の遺跡」の講話でした。

文化係長 梶原圭介氏を講師に、遺跡、埋蔵文化財についての基礎知識と会津美里町の主な遺跡、特に「油田遺跡」について学びました。

会津美里町の遺跡は縄文時代から近世まで時代的にとても広範囲にあります。受講生の皆さんからは、いつもと違った視点から「会津美里町」を見ることができたとの感想をいただきました。

10月には、遺跡そのものを見ることはできませんが、遺跡があった現地を視察する予定です。



小ネタ情報

油田遺跡の油田は「あぶらでん」と読みます。この名前の由来は、明かりを灯す燃料として使われた菜種油をとるために、アブラナを栽培した場所だったからだそうです。

お琴体験教室を実施

7月24日(月)

昨年に引き続き、松本先生、坂内先生、斎藤先生から、お琴演奏を学びました。

なかなか触れる機会のないお琴ですが、新鶴小学校の1年生2名、3年生2名、4年生1名の計5名が参加しました。

1年生は初めての体験でしたが、最後まで頑張ることができました。



パソコン教室

「ドローンプログラミング講座」

(新鶴小体育館)

8月4日(月)

会津大学短期大学部の中澤教授を講師にお迎えしドローンプログラミングを実施しました。

入力したプログラム通りにドローンが浮かび上がった瞬間、子どもたちは驚きの声をあげ目を輝かせていました。

新鶴小の校長先生が体育館内を涼しい環境にしてくださいだったので、外気温の上昇にもかかわらず子どもたちは最後まで集中してプログラミングに取り組むことができました。



成人講座

会津美里町文化祭記念事業

4生涯学習センター合同講座

*新鶴、高田、本郷、宮川の4センターが合同で実施するものです。

- 唐橋郁と真鍋伸オータムコンサート「ディオの世界」

日時：10月28日(土) 午後5時30分～午後7時

会場：じげんホール 入場無料

音楽を聴くことは、豊かな心を育み育み心の健康増進やリラックス効果があるとされています。生演奏に触れ、ゆったりとした時間をお過ごし下さい。 ※お申し込みは各生涯学習センターまで。

一口メモ

※9月1日(金)は防災の日です。1923年9月1日に関東大震災が起きたこと、立春から数えて210日にあたり、台風や天候の崩れが多いとされる日であることから1960年閣議で了解され「防災の日」が制定されました。今年が関東大震災から100年目に当たります。9月は防災月間でもあります。災害についての心構えを準備するきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。